

メダイの漁業・資源生態および資源特性値に関する研究

【研究概要】

八丈島周辺海域におけるメダイについて、漁獲状況、漁獲測定、加入・回遊経路調査等から資源生態の基礎的知見を収集し、制限量を推定する。

①5～2月に計9回の試験操業を行い、漁獲水深および水温データを計37（黒潮外側域：24、黒潮流路上：13）収集した。

②八丈島周辺で漁獲した131尾および大島事業所より提供のあった29尾のメダイについて、精密測定を行った。胃内容物分析結果から、計100検体分の胃内容物を確認し、%IRIの計算値を更新した。

③前年度作成切片を縁辺部に着目して観察し、不透明帯形成時期を推定した。令和3年のメダイサンプル173尾について耳石切片を作成するとともに、たくなんにて採集したメダイ幼魚16尾の耳石微細輪紋を計数した。輪紋を日周輪と仮定して解析した結果、推定ふ化日は概ね1～2月の間であった。

④4～5月に計5回の流れ藻調査を実施し、メダイ幼魚を11尾採集した。令和5年3月にメダイ幼魚4尾を採集した。